科目名称	在宅看護論実習	学年学期	単位数	時間数
		3学年全期	2	90
担当教員	大北　米香	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

在宅療養者と家族の生活特性およびニーズを理解し、その人・その家族らしい尊厳ある生活の継続を支える看護や社会資源活用の実際を学び、それらの基になる社会保障制度についての理解を深める。そして、継続看護、多職種との連携・協働の必要性と看護の役割・機能・態度について考えを深める。

【2】 学習目標

1. 在宅療養を支える訪問看護サービスの仕組みと提供内容について法的根拠に基づき理解できる。
2. 在宅療養者及び家族の身体的・心理的・社会的特徴、生活の状況を理解し、健康上・生活上のニーズを把握できる。
3. 在宅療養者及び家族の生活条件に適した看護方法について理解できる。
4. 保健・医療・福祉システムの活用と連携・協働の実際について理解できる。
5. 施設内看護と施設外看護の特徴および総合的な看護の役割と責任について理解できる。
6. 地域で生活する人の多様性、個別性を理解するとともに看護職としての態度について学ぶ。
7. 在宅看護論実習をとおし自己の看護観を深める。
8. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいた行動がとれる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1 週 目	【訪問看護ステーション実習】 ・訪問看護ステーションのオリエンテーションから、ステーションの概要・訪問看護の利用の仕組み・利用者等を理解する。 ・訪問看護に同行し、在宅療養者とその家族の健康状態、生活状況、実施されている看護の実際を体験し、看護上のニーズと支援方法について考える。	臨地実習
2 ・ 3 週 目	【訪問看護ステーション以外の社会資源施設実習】 （地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・通所系サービス・入所系サービス） ・各施設のオリエンテーションから、施設の目的・役割・利用者・利用の仕組み・事業概要等を理解する。 ・事業に参加し支援の実際を体験し、他職種の理解と多職種での連携・協働と看護の役割について考える。	

【5】 評価方法

在宅看護論実習のルーブリック評価を用いた評価規準に基づき、実践・態度・記録から総合的に評価する。

【6】 教科書

河原加代子：系統看護学講座　統合分野　在宅看護論　（第 5 版）　医学書院　2021
河原加代子：系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論 1　地域・在宅看護の基盤（第 6 版）医学書院　2023
河原加代子：系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論 2　地域・在宅看護の実践（第 6 版）医学書院　2023

【7】 参考書

福田素生：系統看護学講座　専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(3)　社会保障・社会福祉（第 23 版）医学書院　2023
森山幹夫：系統看護学講座　専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(4)　看護関係法令（第 54 版）医学書院　2023

松山市:令和 4 年度版（6 月以降 令和 5 年度版）介護保険制度パンフレット「みんなで支え合う介護保険 活用ガイド」

松山市：障がい者福祉のしおり 2022 年度版 （6 月以降 2023 年度版）

【8】 受講生へのメッセージ

訪問看護ステーション他、多種の社会資源施設で利用者の生活と支援の実際を体験から学ぶ実習です。地域で生活する療養者とその家族がその人らしい生活を継続できるための看護と多職種による連携・協働について学びを深めます。